

RUN表示灯

もしCPUがRUNモードにならない（RUN表示灯がOFFである）ならば、CPUに致命的なエラーがない限り、問題は通常アプリケーションプログラム中にあります。もし致命的なエラーが起きたならば、CPUのLEDは点灯します。（エラーの原因を調べるためにプログラミング装置を使用することができます。）

プログラミング装置や命令語プログラマ、ダイレクトソフトは、エラーメッセージを表示します。エラーによっては、問題を分析するのに役立つメニュー（補助）機能があります。最も一般的なプログラミングエラーは、[END命令なし]です。全てのアプリケーションプログラムは、プログラムの最後にEND命令が必要です。付属書Bにエラーコード一覧表がありますので、これを参照してください。

CPU表示灯

もしCPU表示灯が点灯しているならば、致命的エラーがCPUに起きています。一般に、プログラム上の問題ではなく、ハードウェアの故障です。しかし、電源の入り切りによって、エラーをクリアすることがあります。もしエラーがクリアされるならば、システムをチェックし、何が問題を引き起こしたかを判断すべきです。この問題は、時として外部からCPUへの高周波電気ノイズによって引き起こされることがあります。システムアースをチェックし、もしアースが疑わしいならば、電気ノイズフィルタを設置してください。システム電源の入り切りでエラーがリセットしないか、または問題が再度起きるならば、CPUを取り替えてください。

通信エラー

もしCPUと通信することができないならば、下記の事項をチェックしてください。

- ・ ケーブルが外れている。
- ・ ケーブルのワイヤが破損しているか、または間違っ配線されている。
- ・ ケーブルは不適切な終端、またはアースされている。
- ・ 接続された装置が正しいボーレート（9600ボー）で動作していない。
- ・ ポートに接続された装置がデータを間違っ送っている。
- ・ 2つの装置の間に接地差が存在している。
- ・ 電気ノイズが断続してエラーを引き起こしている。
- ・ PLCの通信ポートの故障。この場合は、PLCを交換してください。

パソコン上でのダイレクトソフトとPLCとの通信に関する問題については、ダイレクトソフトマニュアルを参照してください。それはトラブルシューティングの章に含まれており、通信ポート設定やアドレスまたは割込み衝突などのPC問題の診断に役立ちます。